

件名: System x サーバー関連製品のモデル表記について

サーバー関連製品の製造工程に変更があり、型番ラベル、定格銘板ラベル、および装置毎に記憶・設定される重要プロダクトデータ(VPD)の表記方法が変更になりましたので、ご案内いたします。この変更は2016年1月以降の新規製造出荷分から適用されます。なお、ThinkServer および、その他の Lenovo 製品においては変更ありません。

型番ラベル、定格銘板ラベル、重要プロダクトデータ(VPD)のうち、モデル(Model)部分が、“AC1”と設定されて出荷されます。

サーバー関連製品の場合、機器固体の識別方法として、型番および製造番号(シリアル・ナンバー)で識別します。型番とは、型式(M/T)とモデル(Model)の組み合わせになります。

型式(M/T) = 4桁の英数字(例:”7915”)

モデル(Model) = 3桁の英数字(例:”B3J”)

型番 = 型式(M/T) + モデル(Model) (*連続した7桁の英数)

*型番表記方法の例: 7915B3J または、7915-B3J

型番ラベルの位置:



型番ラベルの例:



*型番ラベルには”MT:”と、”PID:”の2種類が表記されますが、”PID:”欄の英数字が取扱い型番となります。

定格銘板ラベルの位置:



定格銘板ラベルの例:



上記のように、型番ラベル、定格銘板ラベル、重要プロダクトデータ(VPD)には、“MT:”**xxxx-AC1**と設定または表記されますが、型番ラベルの“PID:”欄に表記される7桁の英数字が、注文、保証書、契約書等の、契約上の型番となります。

当件のお問い合わせ先:

IBM サービスライン

電話:0120-34-0000

【付録:】

<IMM2 による型番の表示方法>

以下の方法により重要プロダクトデータ (VPD) 内に設定されている型番を確認することができます。

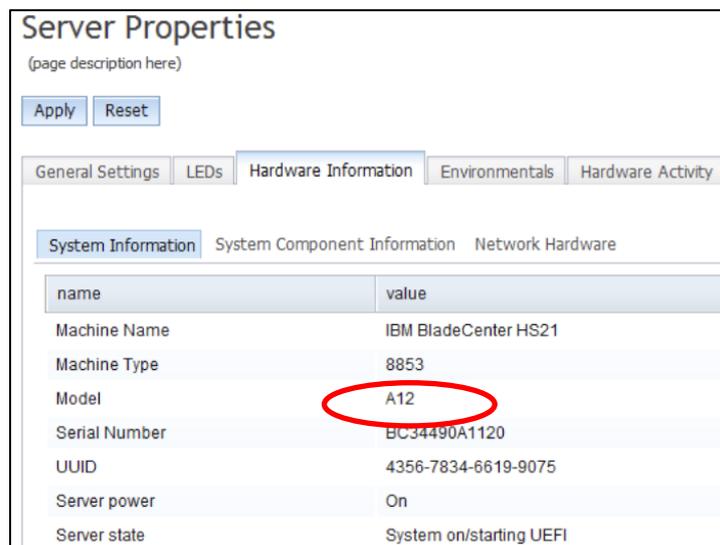
(1) IMM2 へ、ネットワーク・ログイン

(<http://www-06.ibm.com/jp/domino04/pc/support/Sylphd08.nsf/jtechinfo/SYJ0-03F54F2>)

(2) IMM2 画面から、Server Management -> Server Properties をクリック



(3) Hardware Information -> System Information タブを表示



*Model 欄に”AC1”と表示されます。(写真サンプルは、旧方式です)